

2018年



ドキュメンタリー映画と制作者のトーク

8月19日(日曜日)
10:00スタート



午前の部・午後の部 入替制

各々定員200名 先着順

会場: 生涯学習センター 大学習室

JR 横須賀駅、京急逸見駅下車徒歩5分

横須賀市西逸見町1-38-11 ウエルシティ市民プラザ5F ☎046-822-4838

午前の部

(開場 9:30)

10:00 ~ 12:30

先着順

参加費
800円

風の波紋

(99分)

小林茂監督のトーク

都会から大自然に囲まれた豪雪地「新潟県妻有」に移住した夫婦の里山暮らしの日常を通し、自然や人とのかわりや命について、美しい映像とともに描いた作品。

『阿賀に生きる』『阿賀の記憶』のスタッフたちが5年の歳月をかけて、じっくり作りあげた映画です。

<http://kazenohamon.com> (c) カサマフィルム



越後妻有の里山暮らし。

風の波紋

小林茂監督作品



山形国際ドキュメンタリー映画祭2015 最優秀賞
日本映画撮影監督協会 第24回 JSC賞

いのちの岐路に立つ

核を抱きしめたニッポン国



●被爆・被曝者らが迫る

「核が問いかける 戦後日本の隠された真実」とは何かー

広島・長崎への原爆投下からフクシマまでを辿ると、「核を抱きしめたニッポン国」の輪郭が浮かぶ。反核運動の分裂を経て、曲折した核をめぐる歴史に「平和」の内実を問い、融合・和解の道を探る。

8月6日夕刻、「安らかに眠れません 核兵器廃絶の日まで 全原爆被災者の日まで」と記した「とうろく」が広島・元安川の川面を流れていく……。

<https://inochimovie.wordpress.com>

午後の部

(開場 13:00)

13:30 ~ 16:10

先着順

参加費
800円

いのちの岐路に立つ

核を抱きしめたニッポン国

(110分)

やざま ひでじろう

矢間秀次郎プロデューサーのトーク

原爆の投下から今日までの70数年間の、わが国で起きた核に関する事実を歴史的資料や当事者の声で描き、放射能の危険性・怖さを描いた作品。

農民詩人・木村迪夫にスポットを当てた映画「無音の叫び声」の監督、原村政樹さんの作品です。

環境活動家・ジャーナリストの矢間秀次郎さんを招き、お話をうかがいます。



presents by

16ミリ試写室

主催: 16ミリ試写室 問合せ: ☎090-2901-0862 (松澤)

後援: 横須賀市・横須賀市教育委員会・(公財)横須賀市生涯学習財団・(福)横須賀市社会福祉協議会

